研究発表支援制度　申込書

指導者の支援を受ける前に、研究したいことを自分の言葉で書き出すためのシートです。以下の 6 つの問いに、思いつくまま答えてください。

- 研究の言葉を使う必要はありません。ふだんの言葉で書きます。
- 問いの答えを無理やり書く必要はありません。「分からない」と書いてかまいません。
- 正解はありません。指導者が決まったら、話しながら一緒に形を整えていきます。

氏名・所属・心理士資格		資格	
現在の資格取得年月	年　　月		
この申込書記入日	年　　月　　日		
必須科目受講歴 （該当□に✓を入れる）	□ 1)論文の書き方　□ 2)データ解析　□ 3)研究倫理		

問 1　仕事や活動の中で、気になっていることは何ですか

困っていること、不思議に思うこと、もっとよくしたいこと。いくつ書いてもかまいません。

問 2　その中で、いちばん知りたいことは何ですか

一つ選んで、「なぜ～なのだろう」、「～は本当だろうか」「～はどうなっているのだろう」のような疑問の形で書いてみてください。A)どの対象（人やモノ）の、B)どういう条件の時、C)何がどうなる、を意識して書いてみてください。
うまくまとまらなくてもかまいません。

問 3　それが分かると、どんな良いことがありますか

誰の役に立ちそうか、仕事がどう変わりそうか。自分ではどんな答えになりそうだと思っているかも、あれば書いてください。

問 4　それを確かめるのに、どんな記録やデータが使えそうですか

すでに職場にある記録やデータ、これから集められそうな記録やデータは何ですか。それらは①手に入りそうか、またはデータとして測定できそうか、②手に入ったとしても論文に使ってよさそうかも、分かる範囲で書いてください。

問 5　研究を進めるうえで、心配なことは何ですか

使える時間、かかるお金、会社や上司の了解、分析や文章を書いた経験、協力してくれる人など、気がかりなことを自由に書きます。

問 6　指導者に聞きたいこと、支援してほしいことは何ですか

問7　希望スケジュール

研究計画の完了	年　　月頃
調査・実験の完了	年　　月頃
データ分析の完了	年　　月頃
論文の完成	年　　月頃
発表の年と機会	年　　の　1. 学会大会　　2. 心理士大会　　3. 地区別研究会

＜事務局　記入欄＞

推薦する指導者等	
相談に対するコメントや 研究の進め方についての助言	

以上

2026. 10. Ver.1.1

研究発表支援制度　申込書　記入例【内容は架空です】

指導者の支援を受ける前に、研究したいことを自分の言葉で書き出すためのシートです。以下の 6 つの問いに、思いつくまま答えてください。

- 研究の言葉を使う必要はありません。ふだんの言葉で書きます。
- 問いの答えを無理やり書く必要はありません。「分からない」と書いてかまいません。
- 正解はありません。指導者が決まったら、話しながら一緒に形を整えていきます。

氏名・所属・心理士資格	山田 太郎 ・ 中央物流(株) 安全推進課	資格	交通心理士補
現在の資格取得年月	2025 年　10 月		
この申込書記入日	2026 年　10 月　22 日		
必須科目受講歴 (該当□に✓を入れる)	☑ 1)論文の書き方　☑ 2)データ解析　☑ 3)研究倫理		

問 1　仕事や活動の中で、気になっていることは何ですか

困っていること、不思議に思うこと、もっとよくしたいこと。いくつ書いてもかまいません。

・AI ドラレコの警告が多い人と少ない人の差がとても大きい。
・警告が多い人に個別指導をしても、あまり変わらない人がいる。
・ヒヤリハット報告を出す人がいつも同じで、出さない人は全く出さない。
・ベテランほど「自分は大丈夫」と言って警告を気にしない気がする。

問 2　その中で、いちばん知りたいことは何ですか

一つ選んで、「なぜ～なのだろう」、「～は本当だろうか」「～はどうなっているのだろう」のような疑問の形で書いてみてください。A)どの対象(人やモノ)の、B)どういう条件の時、C)何がどうなる、を意識して書いてみてください。うまくまとまらなくてもかまいません。

AI ドラレコの車間距離警告が多い人は、本当に事故を起こしやすいのだろうか。
(昨年、追突事故を起こした社員の記録を見たら、事故の前の数か月、車間距離の警告が毎月上位だった。たまたまなのか、いつもそうなのかを知りたい。)

問 3　それが分かると、どんな良いことがありますか

誰の役に立ちそうか、仕事がどう変わりそうか。自分ではどんな答えになりそうだと思っているかも、あれば書いてください。

事故が起きる前に、指導する相手を選べるようになる。今は事故を起こした人を後から指導しているだけなので、順番を変えたい。
自分では、警告が多い人ほど事故も多いと思っている。もし関係がなければ、警告の件数で人を選ぶやり方を見直すきっかけになる。

問４　それを確かめるのに、どんな記録やデータが使えそうですか

すでに職場にある記録やデータ、これから集められそうな記録やデータは何ですか。それらは①手に入りそうか、またはデータとして測定できそうか、②手に入ったとしても論文に使ってよさそうかも、分かる範囲で書いてください。

・ドラレコの警告件数(約 120 名分):①自部署の管理画面で見られる　②未確認

・事故報告書:①総務部にあり、頼めば見せてもらえると思う　②未確認

・ヒヤリハット報告:①自部署で集めている　②未確認

・これから集めるデータ:今のところ思いつかない。

問５　研究を進めるうえで、心配なことは何ですか

使える時間、かかるお金、会社や上司の了解、分析や文章を書いた経験、協力してくれる人など、気がかりなことを自由に書きます。

・使える時間は週に 3 時間くらい。3 月と 9 月は繁忙期でほとんど動けない。

・事故は年に 10 件くらいしかない。少なすぎないか心配。

・Excel で集計はできるが、統計の分析も論文を書いた経験もない。

・上司には口頭で話してあるが、正式な了解はまだもらっていない。

問６　指導者に聞きたいこと、支援してほしいことは何ですか

・事故の件数が少なくても研究になるでしょうか。

・会社のデータを論文に使うとき、どんな手続きが必要でしょうか。

・分析のやり方を教えていただけるでしょうか。

問7　希望スケジュール

研究計画の完了	2026 年　4 月頃
調査･実験の完了	2026 年　6 月頃
データ分析の完了	2026 年　10 月頃
論文の完成	2027 年　4 月頃
発表の年と機会	2027 年 の　1. 学会大会　2. 心理士大会　3. 地区別研究会

＜事務局　記入欄＞

推薦する指導者等	
相談に対するコメントや 研究の進め方についての助言	

以上

2026. 10. Ver.1.1